

# お孫さんへの支出実態調査 (2011年度調査)

## 【調査概要】

調査時期	2011年10月26日～11月26日
調査方法	大垣共立銀行「スマイル倶楽部OKツアー」の参加者926名にアンケート用紙を配布・回収した。
有効回答者数	786名(有効回答率84.9%)
回答者属性	岐阜県 460名(58.5%) 愛知県 283名(36.0%) その他 43名(5.5%)
調査内容	「お年玉」「誕生日」「クリスマス」「外食」「旅行」のイベント別の孫への支出額とそれを含めた年間支出額を調査し、それを基に「孫マーケット」の規模を算出した。また、「孫」に対する高額品支出についても別途質問した。

(注) 四捨五入により合計が合致しない箇所がある。  
 平均値は各項目(「支出があった人」「外食・旅行があった人」)の平均値であり、「孫がいる人全体」の平均値ではない。

## 1 はじめに

日本は65歳以上人口が総人口の23.0%(2010年「国勢調査」)となり超高齢社会に突入した。今後、この流れはより一層加速するとみられる。

そのような中、若年層に比べ豊富な資産を持つ高齢層の消費活動は、国内経済において重要な位置を占める。また、何かと物入りな子・孫世代を支援する場面も多い。中でも、孫への支出に対しては財布の紐が緩みがちになると考えられる。

本調査は、祖父母の「孫への支出」に関する実態を把握することで、孫マーケットの規模と可能性を探ることを目的とするものである。

共立総合研究所では2002年度にも同様の調査を実施した。しかし9年の歳月が過ぎ、取り巻く環境も変化してきた

ことから、今回改めて1年間の「お孫さん」への支出についてのアンケート調査を実施した。

なお、前回(2002年度調査)との比較にあたって物価変動を加味するため、GDPデフレーター(2005暦年基準)により前回調査の金額を修正した。

$$\text{補正值} = 2002\text{年度調査の金額} \times \left( \frac{2010\text{年度のGDPデフレーター}}{2002\text{年度のGDPデフレーター}} \right)$$

## 2 孫の人数

アンケート対象者に、孫の有無について尋ねたところ、全体の78.1%(614人)が「孫がいる」と回答した。「孫がいる」との回答者一人当たりの孫の数は、平均3.6人で、内訳は同居の孫が0.9人、別居の孫が2.7人であった(図表1)。

昨今の非婚率の増加、晩婚化の進展の影響からか、前回調査と比べ「孫がいる」との回答者割合が減少した。また、孫の数もわずかながら減少した。

## 3 イベント別支出

年間の定例イベントである「お年玉」「誕生日」「クリスマス」を取り上げ、それぞれ孫一人あたりの支出額を尋ねた。

図表1 孫の有無と一人あたりの孫の人数 (括弧内は前回調査)

	いる(%)	孫の数(人)		いない(%)	
		同居(人)	別居(人)		
全体	78.1 (85.5)	3.6 (4.0)	0.9 (1.1)	2.7 (2.9)	21.9 (14.5)
岐阜県	80.0 (86.9)	3.6 (4.1)	0.9 (1.1)	2.6 (3.0)	20.0 (13.1)
愛知県	73.1 (81.6)	3.6 (3.8)	0.8 (0.9)	2.8 (2.9)	26.9 (18.4)

(注) 四捨五入により合計が合致しない箇所がある。

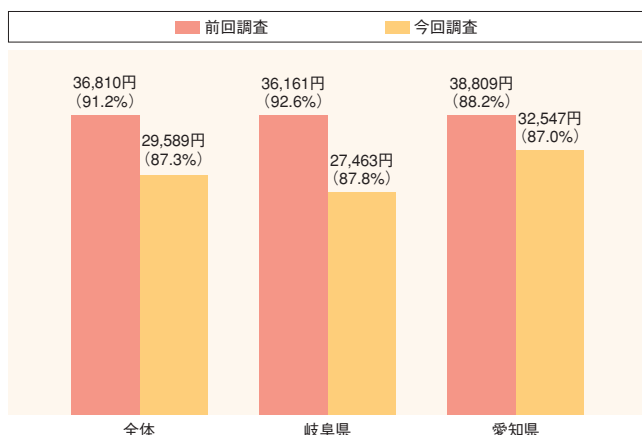
### (1) お年玉

回答者全体でみると、お年玉は、「孫がいる」と回答した人の87.3%が支出していた。回答者ごとの支出総額（孫一人あたりのお年玉支出額×孫の人数）から年間支出金額を29,589円と推計した（図表2）。

### (2) 誕生日

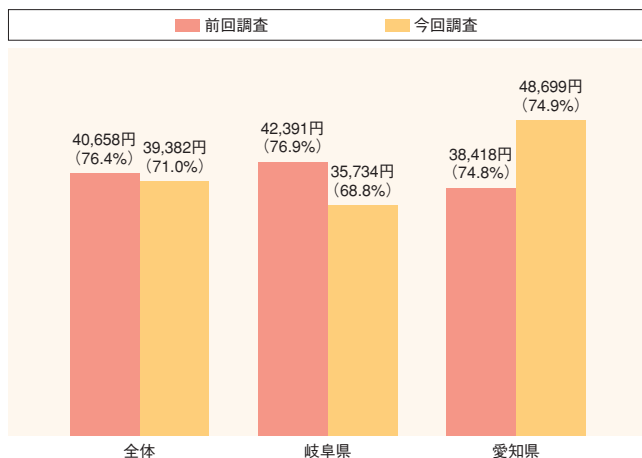
回答者全体でみると、誕生日プレゼントは、「孫がいる」と回答した人の71.0%が支出していた。回答者ごとの支出総額（孫一人あたりの誕生日支出額×孫の人数）から年間支出金額を39,382円と推計した（図表3）。

図表2 孫へのお年玉年間支出推計金額



(注1) 金額は、回答者ごとの孫一人あたりのお年玉支出額×孫の人数の平均値である。  
(注2) 括弧内は、「孫がいる」との回答者のうち、お年玉支出があった回答者の割合である。

図表3 孫への誕生日年間支出推計金額



(注1) 金額は、回答者ごとの孫一人あたりの誕生日支出額×孫の人数の平均値である。  
(注2) 括弧内は、「孫がいる」との回答者のうち、誕生日支出があった回答者の割合である。

### (3) クリスマス

回答者全体でみると、クリスマスプレゼントは、「孫がいる」と回答した人の49.0%が支出していた。回答者ごとの支出総額（孫一人あたりのクリスマス支出額×孫の人数）から年間支出金額を22,512円と推計した（図表4）。

## 4 外食・旅行支出

孫への支出が発生する場面が多いと想定される「外食」「旅行」についても、回数と支出総額を尋ねた。

### (1) 外食支出

回答者全体でみると、この1年間における孫との外食は、平均6.1回、支出金額は52,649円（一回あたり8,687円）となった。

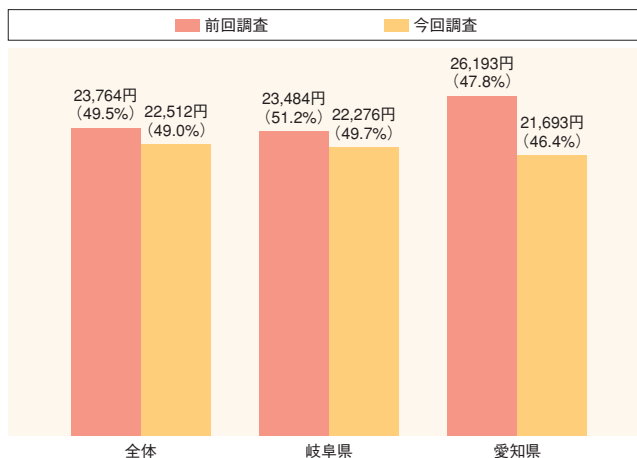
全体としては外食回数、支出金額ともに減少したが、「孫との外食があった」との回答者割合は増加した（図表5）。

### (2) 旅行支出

回答者全体でみると、この1年間における孫との旅行は、平均2.0回、支出金額は125,433円（一回あたり62,570円）となった。

旅行回数、支出金額はほぼ横ばいとなったものの、「孫との旅行があった」との回答者割合は増加した（図表6）。

図表4 孫へのクリスマス年間支出推計金額



(注1) 金額は、回答者ごとの孫一人あたりのクリスマス支出額×孫の人数の平均値である。  
(注2) 括弧内は、「孫がいる」との回答者のうち、クリスマス支出があった回答者の割合である。

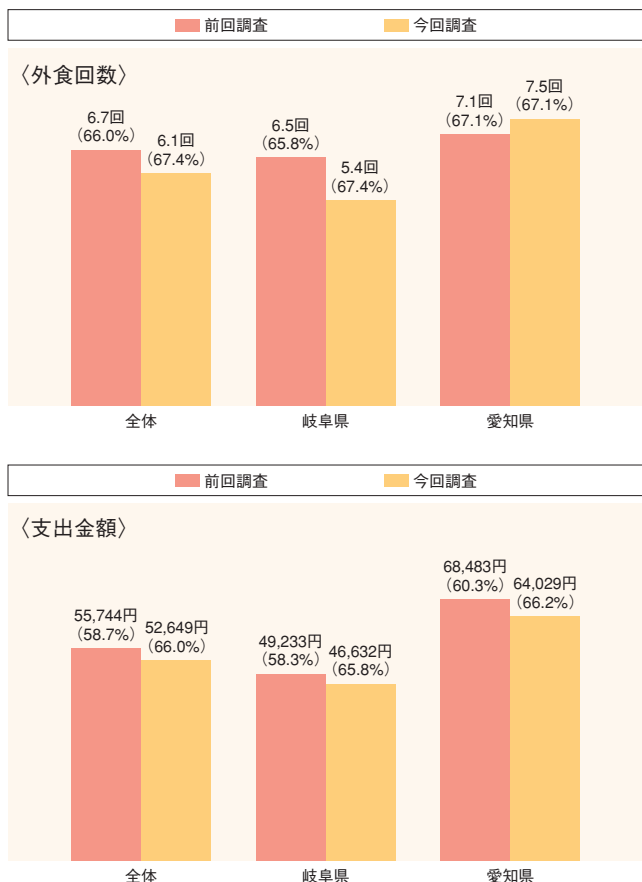
## 5 孫への支出金額

「お年玉」「外食」など前述の支出も含めて、この1年間に孫のために支出した金額の総額を尋ねたところ、孫への年間支出総額は26.7万円（同居の孫6.7万円、別居の孫20.0万円）となった。

これを、孫一人あたりの支出額で見ると、同居の孫8.3万円、別居の孫7.2万円となった。前回調査時と同じく、孫一人あたりの支出額は、同居の孫への支出が別居の孫より多くなったが、その差は縮まった（図表7）。

この結果をもとに、祖父母が「孫」へ用意した財布の大きさを試算したところ、岐阜県609億円、愛知県2,058億円、合計で2,666億円となった（図表8）。

図表5 孫との外食回数と支出金額



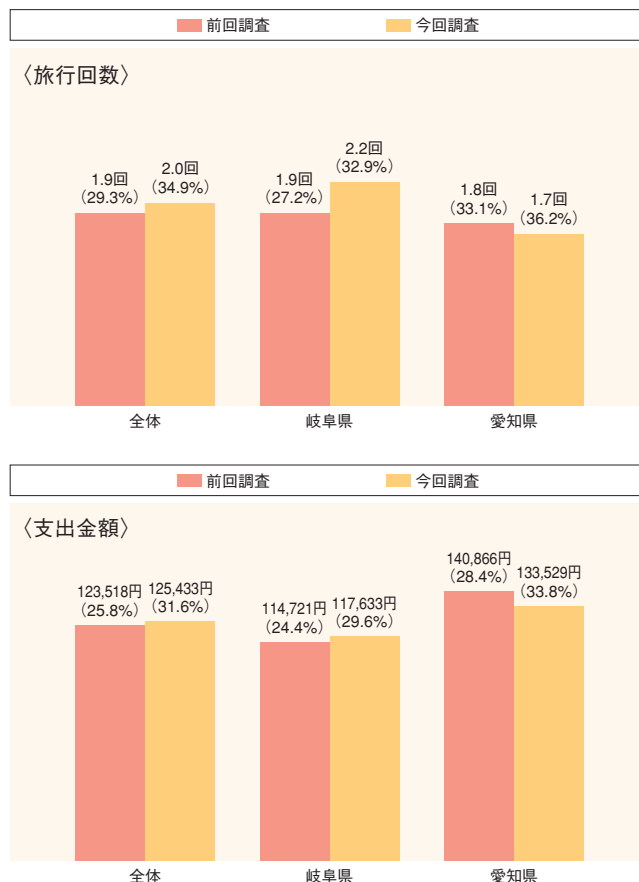
(注1) 「回数」「金額」とも、本問回答者の平均値であり、孫がいる人全体の平均値ではない。  
 (注2) 括弧内は、「孫がいる」との回答者のうち、各項目の回答者の割合である。

## 6 まとめ

全体をみると「お年玉」「クリスマス」よりも、「誕生日」の支出が多く、かつ落ち込みも少なくなった。定例イベントでの孫全体に対する支出よりも、「誕生日」という一人の孫の特別な日のお祝いを重視する傾向がうかがえた。

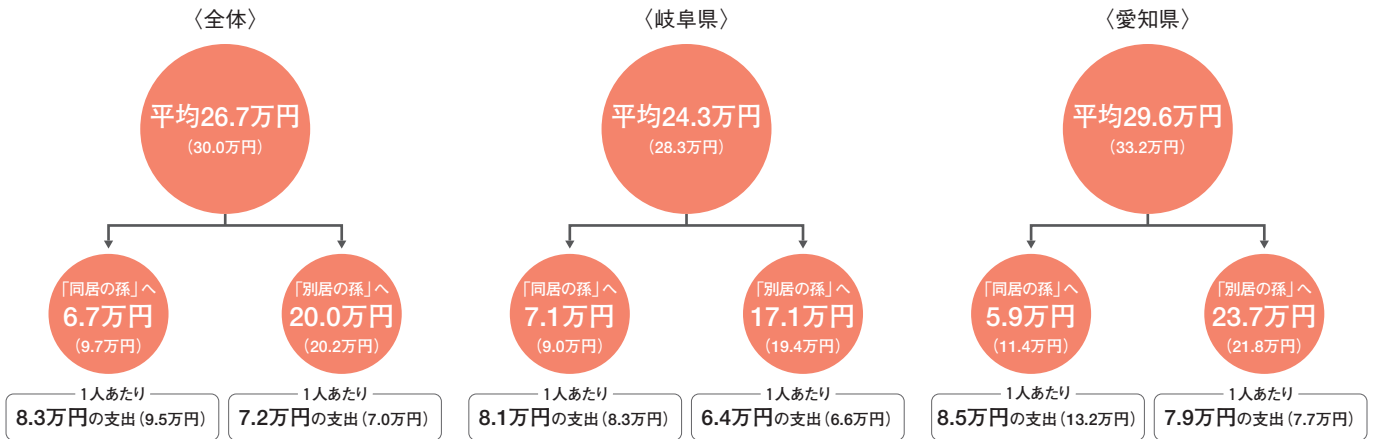
また、多くの項目の支出金額が減少する中「旅行」の支出は増加した。ここから、「モノ」消費から「サービス」消費へのシフト、孫との共同体験を大切にしたいという“絆”消費の一端がうかがえた（図表9）。

図表6 孫との旅行回数と支出金額



(注1) 「回数」「金額」とも、本問回答者の平均値であり、孫がいる人全体の平均値ではない。  
 (注2) 括弧内は、「孫がいる」との回答者のうち、各項目の回答者の割合である。

図表7 「孫」への年間支出総額 (括弧内は前回調査)



(注1) 金額は本問回答者の平均値であり、孫がいる人全体の平均値ではない。また、孫一人あたりの支出額は本問回答者の孫の数より算出した。  
 (注2) 四捨五入により合計が合致しない箇所がある。

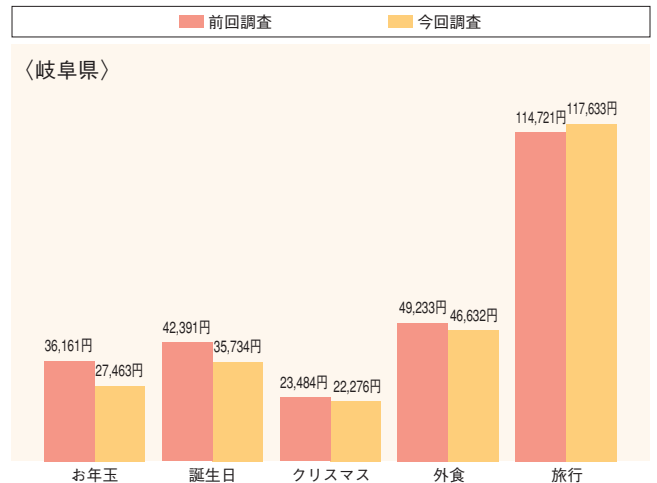
図表8 祖父母の孫への財布

「孫」への財布の試算方法

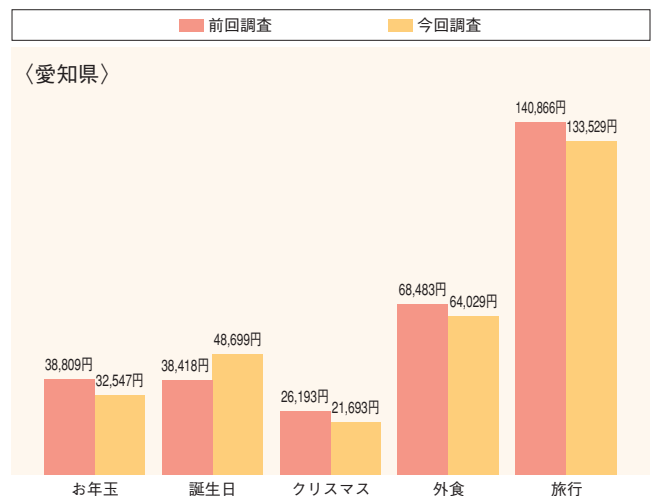
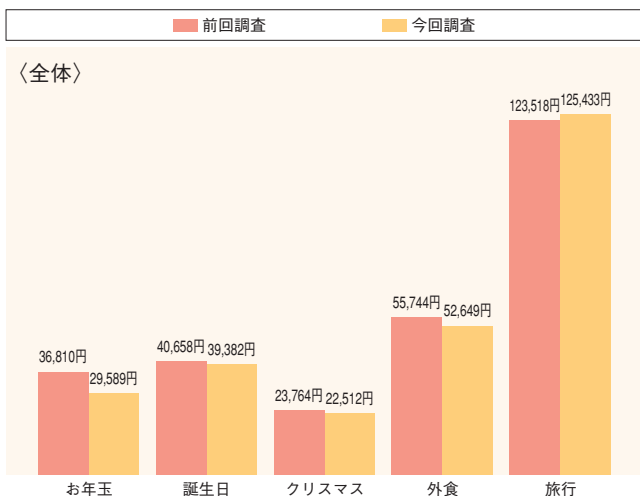
「孫」への財布 = 「公的年金・恩給受給者世帯数」予測値 × 全回答者に占める孫への支出者割合 × 各項目の孫への年間支出推計額

	各県「公的年金・恩給受給者世帯数」予測値 (千世帯)	全回答者に占める支出者割合 (%)	年間支出推計額 (万円)	「孫」への財布試算 (億円)
岐阜県	437 (333)	57.4 (56.3)	24.3 (28.3)	609 (530)
愛知県	1,366 (943)	50.9 (50.8)	29.6 (33.2)	2,058 (1,591)
合計				2,666 (2,121)

(注1) 2011年「人口動態統計」と2010年の「国民生活基礎調査」結果から各県の「公的年金・恩給受給者世帯数」を推計。  
 (注2) 本調査の全回答者に占める支出者割合を全体の縮図とみなし、孫への年間支出を乗じて算出。  
 (注3) 四捨五入により合計が合致しない箇所がある。



図表9 「孫」への項目別年間支出額



## 高額品支出

この1年間の孫に関する支出の中で、金額の多かった支出には何があったのか支出目的と金額を尋ねた。

図表10 お孫さんへ的高額支出

〈支出目的別順位〉

全体

	支出目的	回答者数 (人)	平均支出金額 (万円)
1位	入学・卒業・就職祝い	196	14.6
2位	学費・学用品	57	16.6
3位	節句(雛人形、兜など)	49	11.1
4位	おもちゃ・身の回り品	44	4.8
5位	小遣い・預金など	36	12.4

岐阜県

	支出目的	回答者数 (人)	平均支出金額 (万円)
1位	入学・卒業・就職祝い	127	14.5
2位	学費・学用品	34	17.8
3位	節句(雛人形、兜など)	28	10.1
4位	おもちゃ・身の回り品	24	5.5
5位	小遣い・預金など	18	10.5

愛知県

	支出目的	回答者数 (人)	平均支出金額 (万円)
1位	入学・卒業・就職祝い	61	13.9
2位	学費・学用品	21	15.7
3位	節句(雛人形、兜など)	20	12.6
4位	おもちゃ・身の回り品	18	3.8
5位	小遣い・預金など	16	8.8

最も多かった回答は「入学・卒業・就職祝い(平均支出額14.6万円)」で、これに、「学費・学用品(同16.6万円)」、「節句のお祝い(11.1万円)」が続いた(図表10)。

〈平均支出金額別順位〉

全体

	支出目的	回答者数 (人)	平均支出金額 (万円)
1位	住居関連	6	120.0
2位	車関連	6	48.3
3位	結婚祝い	3	45.0
4位	成人祝い	19	18.0
5位	学費・学用品	57	16.6

岐阜県

	支出目的	回答者数 (人)	平均支出金額 (万円)
1位	住居関連	3	186.7
2位	結婚祝い	2	65.0
3位	車関連	3	40.0
4位	成人祝い	7	20.1
5位	学費・学用品	34	17.8

愛知県

	支出目的	回答者数 (人)	平均支出金額 (万円)
1位	住居関連	2	65.0
2位	車関連	2	35.0
3位	生活費・食費	1	20.0
4位	成人祝い	9	17.9
5位	学費・学用品	21	15.7